

福祉文教委員会先進地視察報告書

日 時	平成27年10月14日(水)午後1時から午後3時まで									
視 察 先	愛媛県四国中央市									
視 察 項 目	子育て支援の取り組みについて									
視 察 者	委員長 伊藤正治 副委員長 古俣泰浩 委 員 川脇裕之、泉 清秀、中平 猛、江端菊和、荻田信孝									
視 察 内 容	<p>四国中央市では、市長の子育てに対する強い思いと企業の地元に貢献したいという思いが一致し、平成23年度から官民協働の「紙のまちの子育て応援乳児紙おむつ支給事業」を開始している。</p> <table border="1"> <tr> <td>対象者</td> <td>満1歳未満の子どものいる保護者</td> </tr> <tr> <td>子育て応援券配付数</td> <td>40枚</td> </tr> <tr> <td>対象商品</td> <td>           大王製紙株式会社：グーン            ユニ・チャーム株式会社：ムーニー、マミーポコ            サイズは新生児サイズ～Lサイズ（Lサイズがあ            わなくなった場合のみビッグサイズ）         </td> </tr> <tr> <td>引換登録店舗</td> <td>29店舗（平成27年4月1日現在）</td> </tr> </table> <p>また、同市は登下校における児童の安全確保のため、ICカードを活用した総務省のモデル事業「地域児童見守りシステム」を導入した。現在は市独自のユビキタススクール事業へと拡大し、登下校の時間をメール配信する広域版登下校管理システム、登下校のみでなく放課後児童クラブ、放課後子ども教室の入退室の時間をメール配信する放課後子ども教室管理システム、学校と保護者の連絡調整を行う保護者連絡網システムを運用している。</p>		対象者	満1歳未満の子どものいる保護者	子育て応援券配付数	40枚	対象商品	大王製紙株式会社：グーン ユニ・チャーム株式会社：ムーニー、マミーポコ サイズは新生児サイズ～Lサイズ（Lサイズがあ わなくなった場合のみビッグサイズ）	引換登録店舗	29店舗（平成27年4月1日現在）
対象者	満1歳未満の子どものいる保護者									
子育て応援券配付数	40枚									
対象商品	大王製紙株式会社：グーン ユニ・チャーム株式会社：ムーニー、マミーポコ サイズは新生児サイズ～Lサイズ（Lサイズがあ わなくなった場合のみビッグサイズ）									
引換登録店舗	29店舗（平成27年4月1日現在）									
所 感	<p>多くの保護者が制度を知っており、利用しているとのことから市民の関心が高いことがうかがえた。また、経済的な面や衛生面で非常に助かっているという利用者の声があり、子育て世帯のニーズに応じた事業であることが、四国中央市の出生率の高さにつながっているのではないかと感じた。本市においても子育て世帯に限らず、市民のニーズに応える事業を展開していくことが出生率の向上や人口の増加を推進する上で重要であると感じた。</p> <p>総務省のモデル事業である地域児童見守りシステムは登下校の様子や不審者情報を把握することができ、多くの保護者から高評価を得ることができていた。モデル事業を市独自のユビキタススクール事業へと拡大し、市内の全小中学校の児童を対象を拡大したことは、保護者に安心を提供することができると感じたが、危険通報を受けても瞬時に対応できる体制が確立されていなければ意味が薄れてしまうとの意見はもっともであると感じた。</p> <p>本市においても、児童防犯において地域との連携は不可欠であり、地域の協力体制の確立が改めて重要であると感じた。</p>									

日 時	平成27年10月15日(木)午前10時から正午まで
視 察 先	愛媛県今治市
視 察 項 目	子育て支援の取り組みについて
視 察 者	委員 長 伊藤正治 副委員 長 古俣泰浩 委 員 川脇裕之、泉 清秀、中平 猛、江端菊和、荻田信孝
視 察 内 容	<p>今治市では、地域全体で子育てを支援する施策を展開している。</p> <p>子育てファミリー応援ショップ事業は、母子健康手帳や子育て応援カードを提示すると協賛店舗が独自に決めた割引や特典サービスを受けられるもので平成20年10月から行っている。子育て家庭の経済的負担の軽減や子育てを地域で支える仕組みの構築などにつながっている。</p> <p>子育て応援ヘルパーを派遣事業は、家事や育児に関して支援が必要な家庭を援助するもので市が社会福祉協議会に委託し平成22年から行っている。支援サービスの内容は食事の準備や掃除など、家事に関するもの、授乳やおむつ交換など育児に関するものがあり、近年、利用者はふえているが、利用者の需要に全て対応できていないことが課題であった。</p> <p>マイ保育園事業は、妊娠中から子どもが3歳になるまでの期間を通して安心して子育てができるように保育士や保健師等から支援を受けられる事業である。</p> <p>提供されるサービスは以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) おためし一時保育（半日の無料体験）の利用券を3枚交付</li> <li>(2) 登録施設において年4回以上開催される子育て講座の案内</li> <li>(3) 保育所等の行事への見学参加・園庭開放</li> <li>(4) 子育てに関する相談・助言及び情報の提供</li> </ol>
所 感	<p>子育てファミリー応援ショップ事業は子育て世帯の経済的な負担を軽減するという点、子育てを地域全体で支えていく点、定住促進に寄与している点が本事業の魅力であると感じ、商業振興と子育て事業が合致した取り組みとして参考になった。</p> <p>子育て応援ヘルパー派遣事業は全ての利用者の需要に対応できていないことや派遣するヘルパーのスキルアップが課題であるとのことであった。援助が必要になった場合にヘルパーが駆けつけてくれるこの制度は、隣近所や親族等の支援を受けることができない家庭に対して大変有効であると感じた。</p> <p>マイ保育園事業は、担任でない保育士が対応に当たるとのことで、保育園の負担がそれほど大きくないと感じた。</p> <p>本市においてもファミリーサポートセンターや子育てショートステイ等で子育て世帯のニーズに対応できる体制をとっているが、今治市の事業と対比しながら、今後さらに制度を見直し、料金体系など利用者に使い勝手のよいものにしていくことが必要であると感じた。</p>